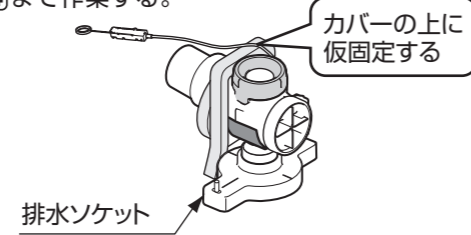


## 大便器背面カバー（別売品）の取り付け

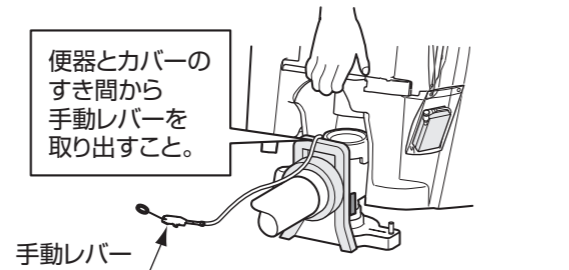
※取り付けが必要な場合のみご確認ください。

①大便器背面カバー同梱の施工説明書に従って①～④まで作業する。

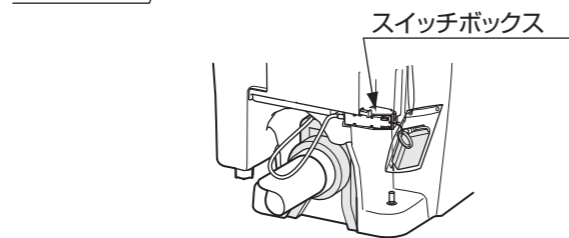
②固定した排水ソケットカバーの上に  
手動レバーを仮固定する。



③仮固定した位置がずれないように、  
便器排水口を排水ソケットに差し込む。  
・便器とカバーのすき間から  
手動レバーを取り出すこと。



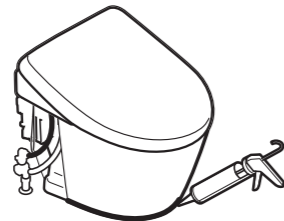
④手動レバーをスイッチボックスに取り付ける。



⑤大便器背面カバー同梱の施工説明書「便器の取り付け(つづき)」に従って作業を行う。

## お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シーリング材(メジール)を塗布することをおすすめいたします。



# TOTO

## ウォシュレット® 一体形便器(便器部)

必ず実施	2
安全に関するご注意	3
取り付け前のご注意	3
同梱部品の確認	4
施工手順	4
各部のなまえと施工のポイント	5
取付方法	5

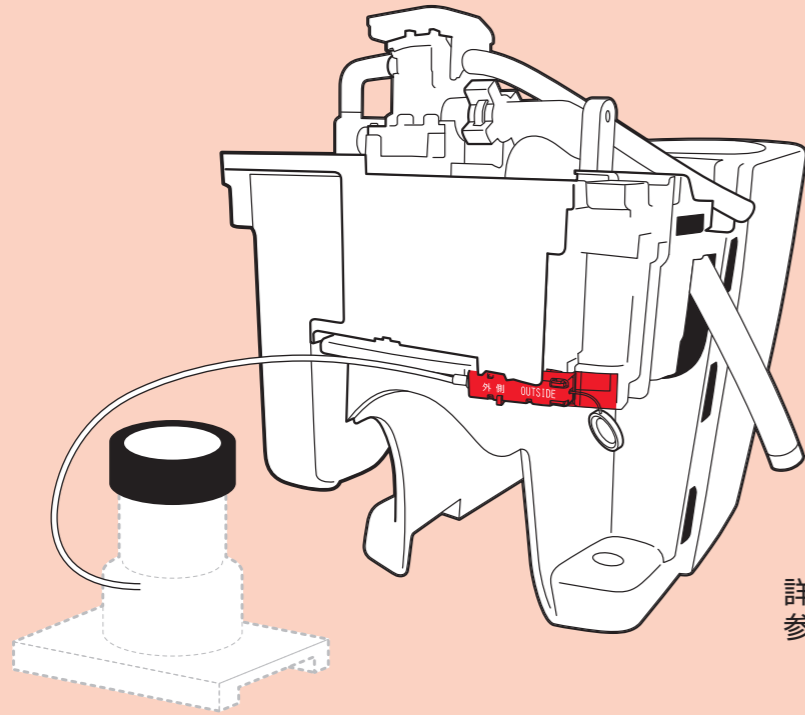
■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

**必ず実施**

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

**便器を排水ソケットに取り付ける前に手動レバーを取り付けてください。**



詳細は9ページ **6** を参照ください。

**停電時に使用するため電池ボックスは取り外さないでください。**



※袋のひもが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

**安全に関するご注意** (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

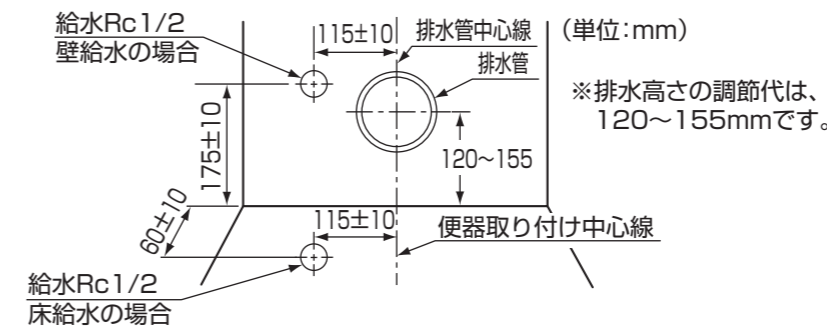
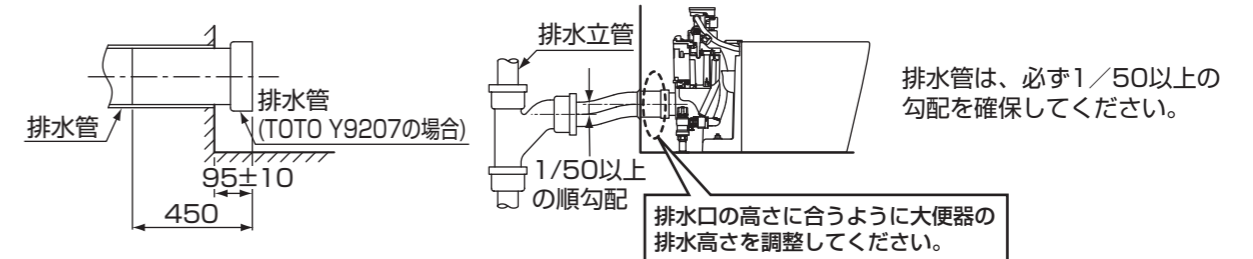
	してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
--	--------------------------------	--	-------------------------------------

**注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	<p><b>禁止</b></p> <p>便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>浴室など湿気が多い場所に設置しない 火災、感電、発熱、ショートの原因になります。</p>
	<p><b>必ず実行</b></p> <p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。</p> <p>設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。</p>

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

**取り付け前のご注意**




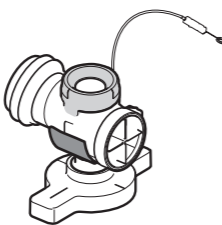










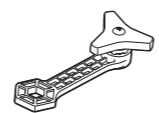






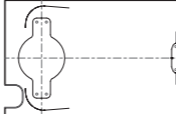

**注意**

**必ず実行**

排水管を逆勾配にしない  
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

- 便器を防火区画貫通部より1m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認いただき、その指示に従ってください。
- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 後壁に床面から高さ1400mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります。
- 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体同梱の施工説明書をご確認ください。
- 電源コードの長さは、約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa(10L/分)、最高水圧(静止時)0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。

## 同梱部品の確認 ※部品があるか、下記を参照して確認してください。

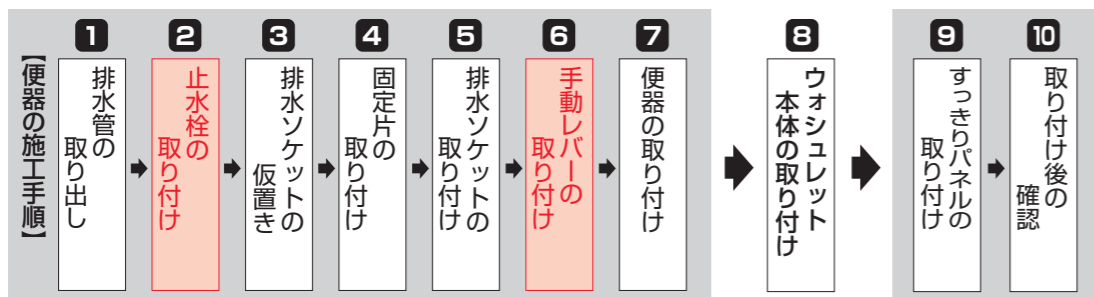
便器本体	排水ソケット	固定片
 ※電池ボックス付き(1個)	 排水ソケット(1個) <b>※ゴムジョイント 手動レバー付き</b>	 固定片(1個)
すっきりパネル		 接着ブロック(1個)
 すっきりパネル(左) (1個)  すっきりパネル(右) (1個)	 木ねじ(φ5×40:2本)	
給水金具	固定金具類	その他
 クイックファスナー付 エルボ(1個)  止水栓 (1個)  ストレート管 (1個)	 六角ボルト (2本)  止め金具 (2個)	 開閉工具(1個) ※すっきりパネル裏側に 貼り付けてあります。
<b>※便器同梱のフィルター 付き止水栓を必ず取り 付けてください。</b>	 ナット (2個)  ワッシャー (2個)	 施工説明書 (1部)
 パッキン (1個)  ふさぎシート (1枚)	 木ねじ(排水ソケット用) (φ5×50:4本)	 位置決めシート (1枚)  説明書 (1部)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

(  は本紙、  はウォシュレットの施工説明書を参照ください)



※大便器背面カバー(別売品)の取り付けは、12ページをご確認ください。

## 施工手順

### 各部のなまえと施工のポイント

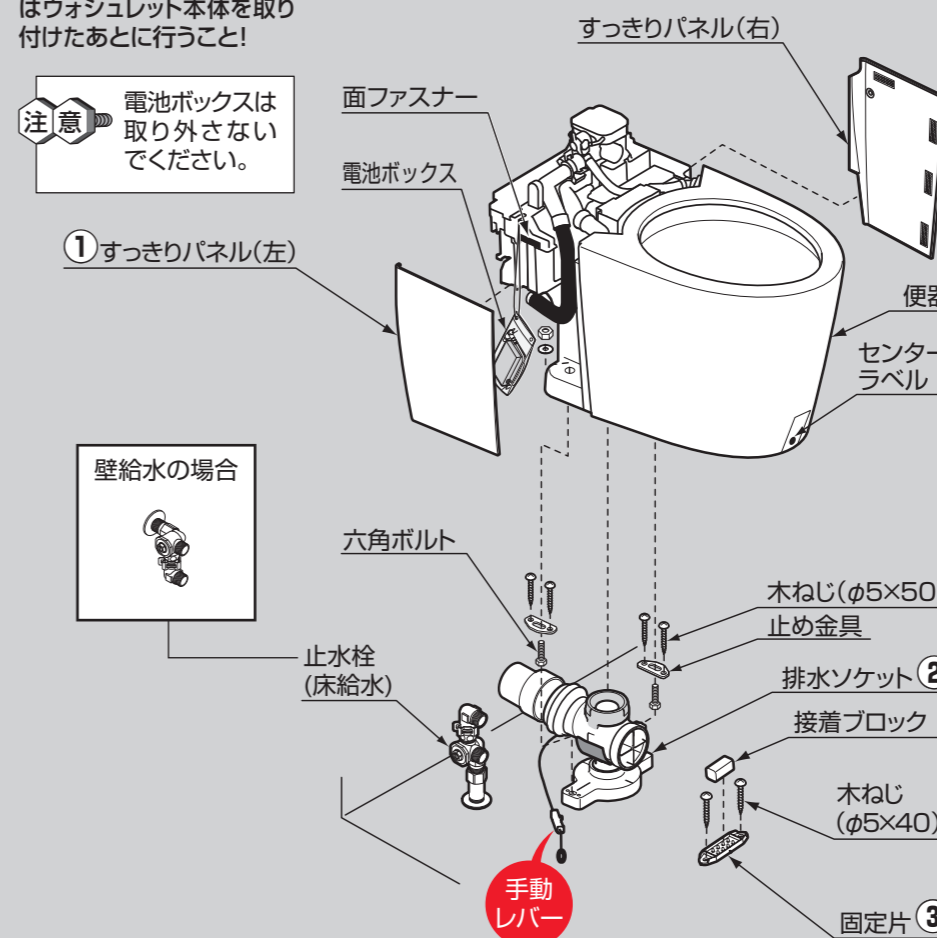
#### ポイント①

すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと!

**注意** 電池ボックスは取り外さないでください。

#### ① すっきりパネル(左)

#### 壁給水の場合

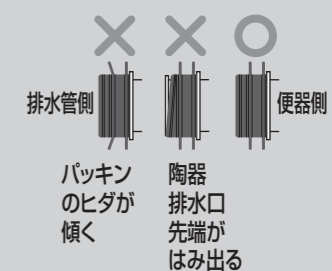


#### ポイント②

- ①火や熱で加工したり、切ったりしないでください。
- ②溶剤や接着剤を塗布するとパッキンが溶けるおそれがあります。
- ③取り付けには必ず石けん水を使用してください。石けん水を使用しないとパッキンが切れるおそれがあります。
- ④取り付け後は必ず水溜試験を行い、水漏れしないことを確認してください。
- ⑤取り付け後、水漏れする場合はPシール(TOTO品番: TZ106A)をパッキンと排水口の境目に充て込んでください。

排水口にパッキンを取り付けた際の状態について、以下を確認してください。

#### 【パッキン側面図】



排水ソケットの高さ、排水ソケット口径の陶器公差・排水管の高さの施工誤差によっては、パッキンがはみ出すことがあります。水溜試験の結果、水漏れしていなければパッキンがはみ出しても品質的に問題はございません。

#### ポイント③

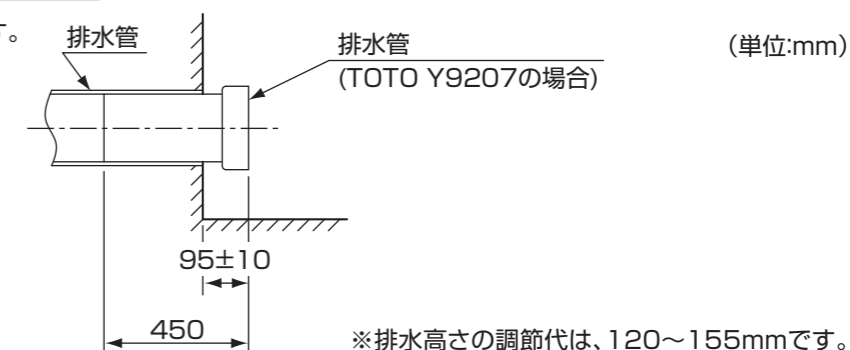
位置決めシートで固定片の位置を正しく出すこと! (⇒④)

**注意** 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

## 取付方法

### 1 排水管の取り出し

排水管を所定の位置に取り出す。



※排水高さの調節代は、120~155mmです。

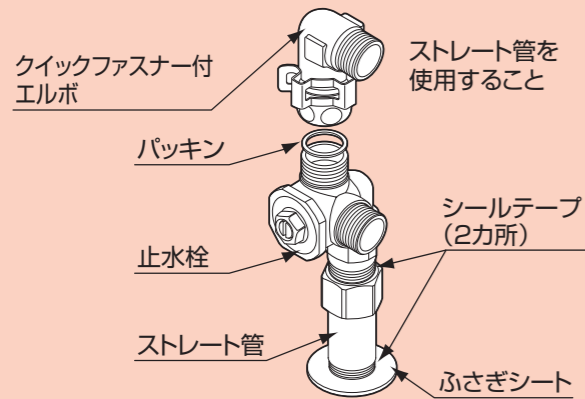


# 取付方法

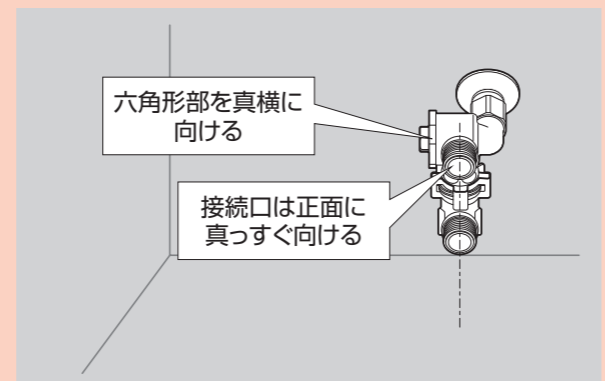
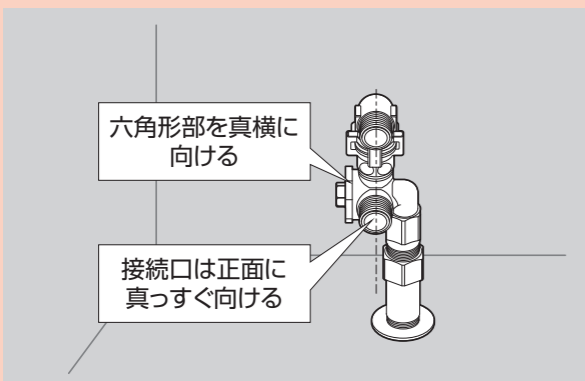
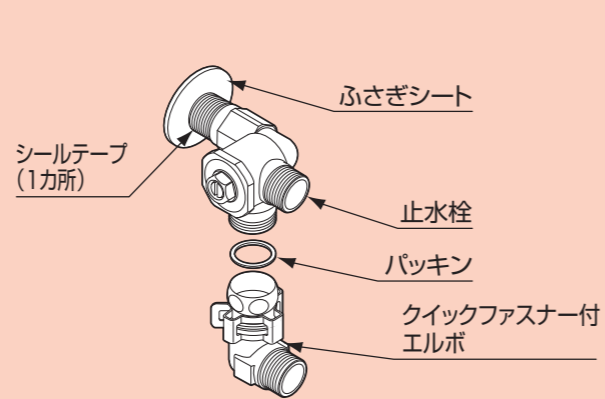
## 2 止水栓の取り付け

止水栓を所定の位置に取り付ける。

### 床給水の場合



### 壁給水の場合



・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。  
 ※取り付け時の際、止水栓の向きに気を付けてください。  
 ※ストレート管と床にすき間がある場合、防カビ性のシリコン系シーリング材(メジール)にて充てんしてからふさぎシートを取り付けてください。  
 階下に水漏れが発生するおそれがあります。

**注意** 便器同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。  
 ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

**動画を見る**

**止水栓の取り付け**

<http://su.toto.com/csfmh1wq>

※通信料がかかります。  
 ※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。  
 ※動画はAH/RH/DHタイプを掲載しています。

# 取付方法

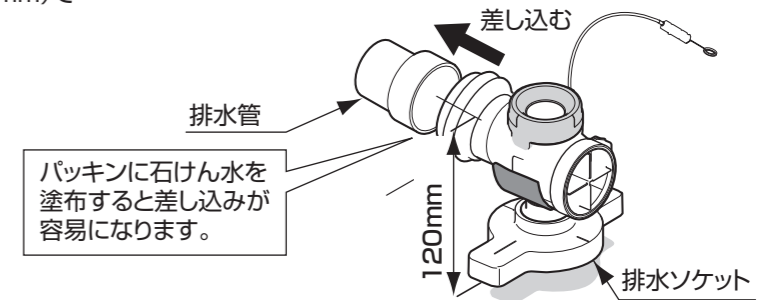
## 3 排水ソケットの仮置き

① 便器取り付け中心線をけがく。

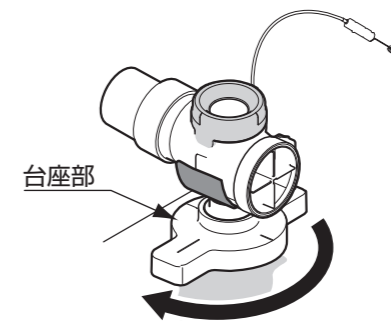
**注意** 便器取り付け中心線と排水ソケットの中心がほぼ一致するように仮置きしてください。

② 排水管高さが、120mm(調節代:120~155mm)であることを確認する。

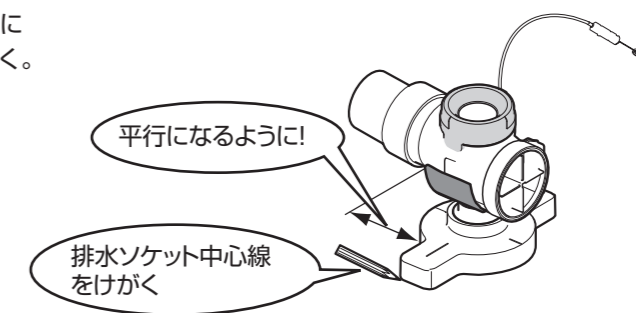
③ 台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



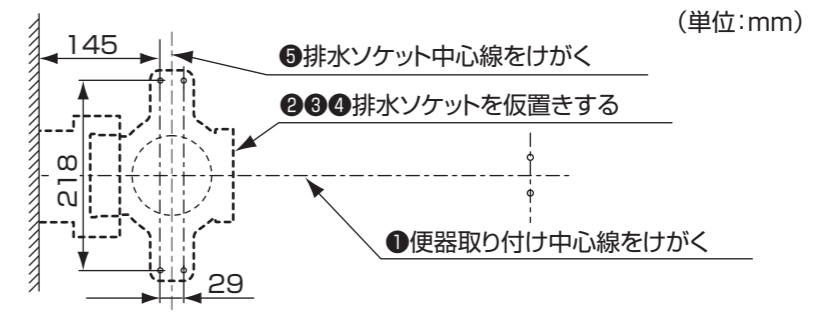
④ 台座部を床に当たるまで回転させる。



⑤ 排水ソケットが壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。



<排水管の出代95mmの場合>

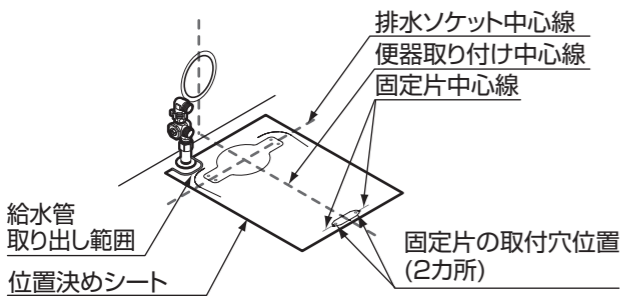


⑥ 排水ソケットを外し、排水ソケット取付木ねじ位置(4カ所)にφ3程度の下穴をあける。

4 固定片の取り付け

【位置決めシート設置状態【床給水の場合】】

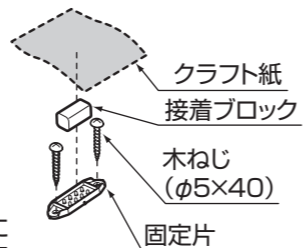
- 位置決めシートを便器取り付け中心線と排水ソケット中心線にあわせるようにおく。
  - 給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
  - 給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。



- 固定片取付穴位置、固定片中心線をけがく。

- 位置決めシートを外し、固定片を所定の位置に木ねじで床(2カ所)に固定する。

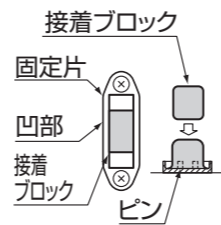
・床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



- 接着ブロックを、クラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す。

<接着ブロックについて>

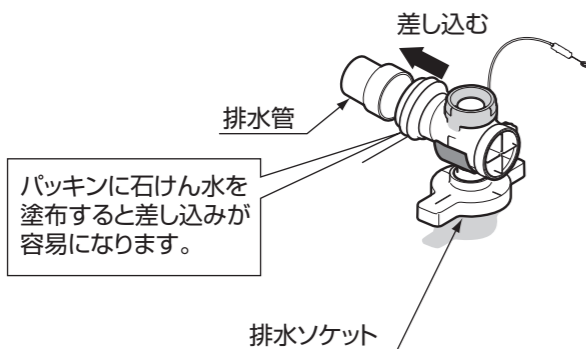
- 施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
- 接着ブロックの方向性は特にありません。
- 気温が下がると接着ブロックが固くなる場合があります。このときは接着ブロックをあたためて柔らかくしてからご使用ください。



・詳細は、接着ブロック同梱の注意書を参照してください。

5 排水ソケットの取り付け

- 台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。

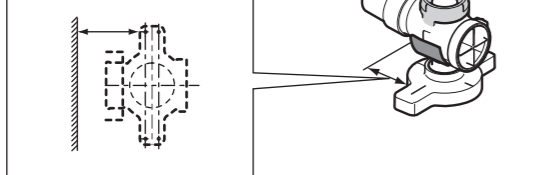


- 台座部を床に当たるまで回転させる。



- 排水ソケットが壁に平行になるように調整する。

平行になるように!



- 排水ソケット固定部(2カ所)に六角ボルトを立て、止め金具を通してうで、木ねじで床(4カ所)に固定する。



注意

- 取り付ける際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにご注意ください。
- 排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む。確実ににはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

6 手動レバーの取り付け → 7 便器の取り付け

動画を見る

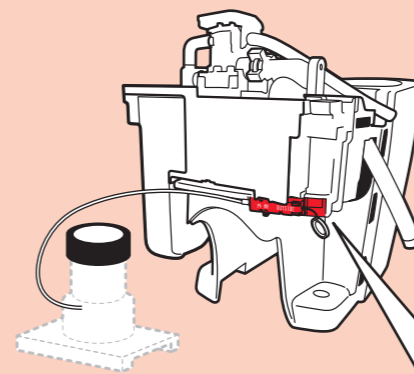
手動レバーの取り付け

<http://su.toto.com/v6fbd>

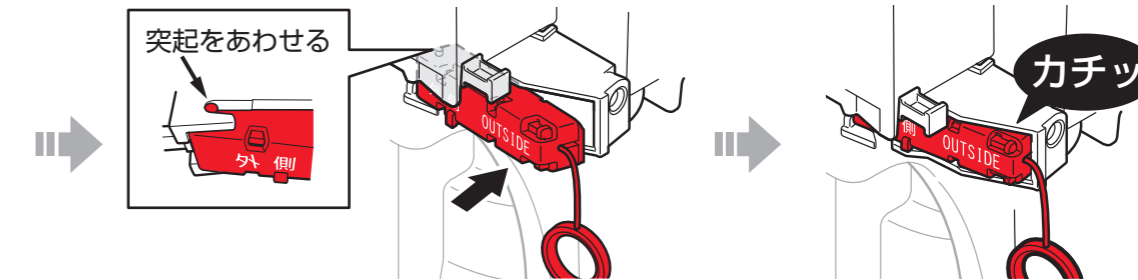
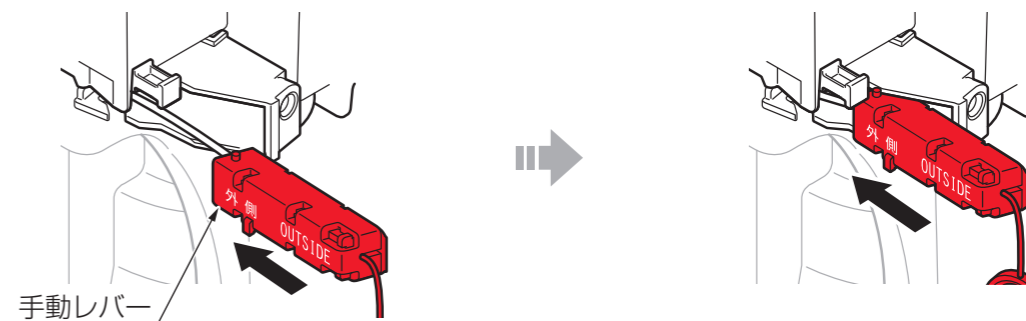
※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。

※動画はAH/RH/DHタイプを掲載しています。

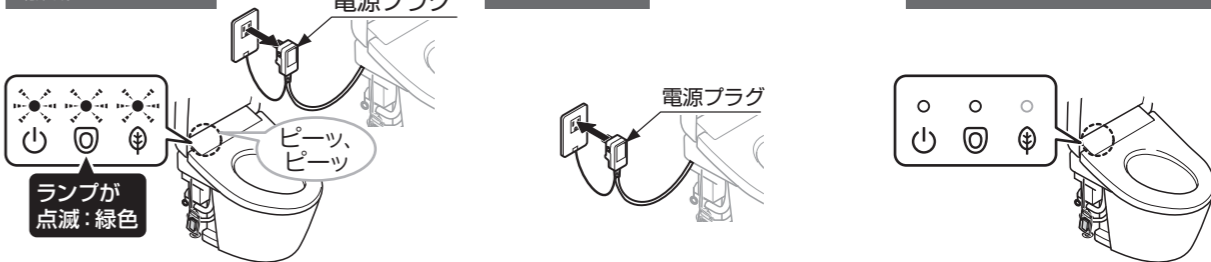
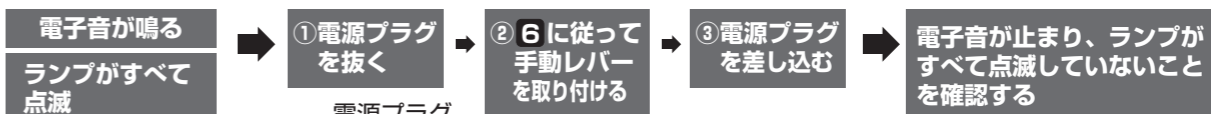


手動レバーの向きを確認して横にスライドする



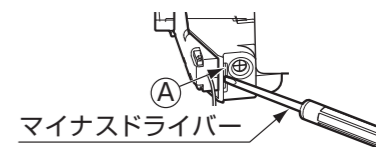
※取り付け後、手動レバーが外れないことを確認してください。

電子音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合



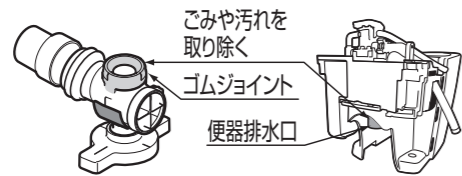
<手動レバーの取り外し>

マイナスドライバーなどを図(A)に挿入し、ロックを解除して取り外してください。

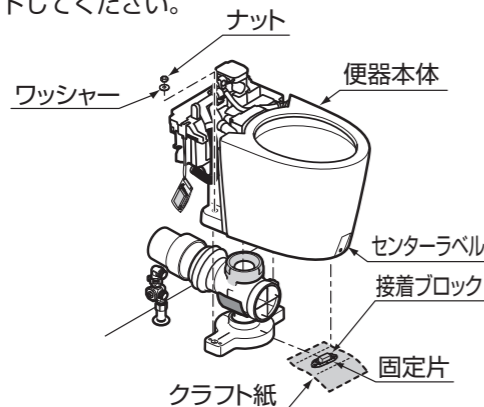


## 7 便器の取り付け

① 便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除く。



② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。  
・便器の持ちかたは右下図を参考にしてください。  
・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。



**ポイント**  
目安として 壁から10~15mm を目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。  
※壁に傷がつかないように差し込んでください。

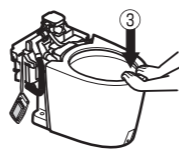
③ センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。

④ 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。



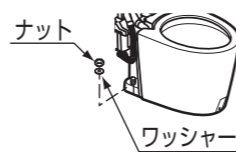
⑤ 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかり押し、センターラベルをはがす。

**注意**  
センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。  
便器が床につくまでしっかり押さえてください。

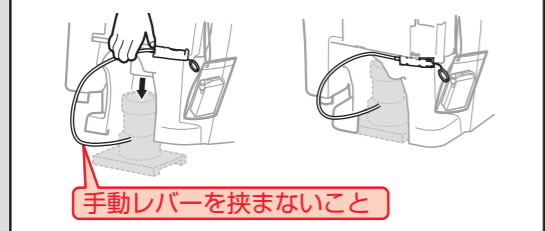


⑥ 便器の取付穴(2カ所)をナット、ワッシャーで固定する。

**注意**  
ナットを確実に締めてください。ナットを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



### 手動レバーの取り回しかた

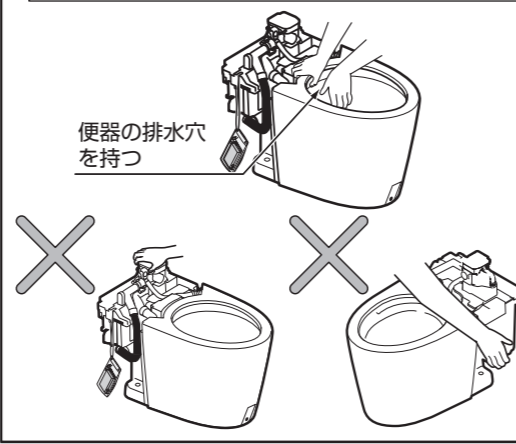


手動レバーを挟まないこと

※手動レバーを引っ張ったり、便器に挟まないようにしてください。

### 便器の持ちかた

**注意** 機能部を持つと破損するおそれがあります。



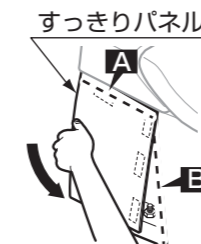
## 8 ウォシュレット本体の取り付け

※取付方法・操作方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

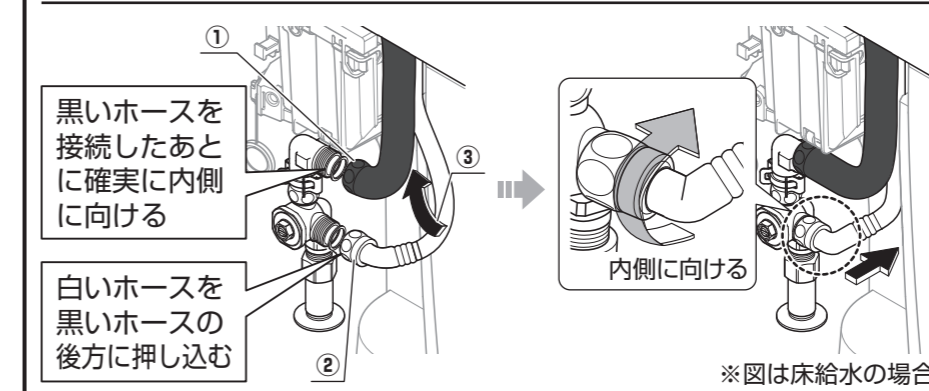
- ウォシュレット本体を取り付ける。
- 便器に水が流れているときは、電源プラグをコンセントに差し込む。  
・電気工事が未完了のときは、電池ボックスに乾電池を入れて、電池ボックス用コードをプラグ差し込み口に差し込んでください。
- 手動レバーの動作を確認する。  
・ウォシュレット本体の試運転を行った後、動作確認を行ってください。

## 9 すっきりパネルの取り付け

すっきりパネルを図Aと図B(点線)にあわせてすき間が目立たないように取り付ける。  
・面ファスナー部(4カ所)をしっかり押さえて、すっきりパネルが外れないことを確認してください。



### 給水ホース接続方法



・すっきりパネルにすき間や浮きがある場合は、上図を参考に給水ホースの接続方法を確認してください。きちんと取り付けしない場合、すっきりパネルが外れるおそれがあります。詳細は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書を参照してください。

### 動画を見る

#### フレキホースの収納



<http://su.toto.com/pfy01>  
※動画はAH/RH/DHタイプを掲載しています。

## 10 取り付け後の確認

- 試運転後は、すべての接続部において水漏れしていないか確認してください。取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。
- 陶器とすっきりパネルの間に目立ったすき間がないこと、浮き上がりがないことを確認してください。きちんと取り付けしない場合、すっきりパネルが外れるおそれがあります。